



成蹊大学文学部
スペシャル
レクチャーズ

日本語教育は 社会にどう 貢献できるか



2019年7月21日[日] 13:00~15:30

入場無料・申込不要

場所：成蹊大学6号館501教室



サーレ・アーデル・アミン
カイロ大学文学部
日本文学科長



野山 広
国立国語研究所准教授



土屋 巖
吉祥寺外国語学校校長



ファシリテーター
小田切 由香子
成蹊大学客員教授

現在、世界で最も使用されている言語は英語で、日本語は10位にも入りません。しかし、日本語は第二言語として学ぶ価値が高い言語です。世界経済フォーラムが「観光力、経済力、コミュニケーション力、知識・メディア力、外交力」に基づき発表した世界最強言語ランキング(2016年)では、日本語は8位に入っています。

実際、第二言語として日本語を学ぶ学習者は国内外に多数います。また、外国人労働者の受け入れ拡大により、日本語を母語としない人たちに日本語を教える日本語教育の必要性は今後ますます高まっていくことが予想されます。

本シンポジウムでは日本語教育研究および日本語教育の現場の第一線で活躍している3人の登壇者をお招きし、日本語教育の現状やこれからの社会で日本語教育が果たす役割、そして課題についてお話しいただきます。

お問い合わせ

成蹊大学文学部共同研究室

電話：0422-37-3640 [月~金 9:00~17:00] までお願いいたします。

※入場無料 事前の申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。